

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

今年度の課題と学力向上策		
①	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が二極化している。 <指導上の課題> 習得した知識・技能を活用する学習を、全体指導で設定しづらく、また個別指導が十分に確保できない。	⇒ 習熟度に応じたプリントを準備する等、個別最適な学びの実現に努める。【毎日】 ⇒ スクールアシスタントが授業に入り、個別指導等のサポートをする。【毎日】 ⇒ テスト前に学習会や質問会を実施する【定期テストごとに実施】 ⇒ ドリルパークやスタディサブリなどを活用する機会を増やしていく。【長期休業期間中】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 「思考・判断・表現」の記述式問題の正答率が二極化している。 <指導上の課題> 知識・技能に二極化がみられるため、授業時間内での個別指導が十分に確保できない。	⇒ 生徒自身の振り返りの時間を行い、前時の授業との連続性を持たせていく。【毎日】 ⇒ スクールアシスタントが授業に入り、個別指導等のサポートをする。【毎日】 ⇒ オクリンク等を活用した「学び合い」を継続して行っていく。【毎日】 ⇒ 学級活動における話し合い活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を向上させる手立てとする。【年間】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		学力向上策【実施時期・頻度】
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)